

開催日時	令和3年10月22日(金) 19時00分～21時30分
開催場所	ZOOM会議
出席者	西原・戎・川端・水田・森川・田中・三野・反橋・宇仁菅・伊原・郷・小山・樋笠・清原・有吉(敬称略)
欠席者	なし
記録者	有吉
議題1	報告事項
決定事項	<ol style="list-style-type: none"><li>士会組織再編 支部運営審議会(担当理事) 小山、樋笠、清原、有吉 神戸東支部(支部長交代) (前)清原直幸 ⇨ (新)西原 涼真</li><li>第32回兵庫県理学療法学会(令和3年7月18日) (報告)covid-19の影響で1年延期後、WEBによる開催。参加者は600名弱。県外からの参加者も多く、これまでとは違った大会となった。 第33回兵庫県理学療法学会(淡路) (案内)大会テーマは伴歩(伴に歩む)。開催方法は企画段階であるが、対面を中心として、一部WEB配信を予定。会場は洲本市を予定。</li><li>高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進(議題4) ワーキンググループの立ち上げやモデル事業案(市町・支部)を理事会で検討中</li><li>代議員の推薦者の承認について 承認作業済み</li><li>オフィス365のアカウント配布とOneDrive(1T)について 各支部と各部にオフィス365のアカウントを配布し、連携構築を模索中。 OneDriveの使用方法については、各支部で自由に活用し、好事例を共有できればと考えている。すでに、グーグルドライブなどを活用している場合、継続利用も問題ないが、将来的にOneDriveへ一本化する可能性がある。</li></ol> <p>⑥ 議事録の支部ページへの掲載について 支部ページへの掲載だけでなく、士会事務所納さんへも掲載用の議事録を提出のこと。 なお部外秘用と掲載用の両方を作成した場合は、部外秘のみを提出。</p>
議題2	事業予算審議(登録理学療法士の更新研修に係るカリキュラムコード重複を避けるための講師、テーマ、コード決定について) ⇒継続審議
決定事項	<ul style="list-style-type: none"><li>登録理学療法士更新の要旨 研修会の最小時間30分で0.5ポイント。 研修会のテーマに対し、カリキュラムコード1から170のコードの中から、選択。</li><li>仔細については、ワーキンググループでの会議後の予定。 (意見交換)</li><li>研修部がカリキュラムコードを各支部に必須指定し、その他は支部の自由裁量で決める(案)。</li></ul>
議題3	事業予算審議(症例検討会の開催について) ⇒継続審議

<p>決定事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・症例検討会の要旨・            症例検討の1症例ごとに発表者、聴講者の履修管理が必要。            発表者1症例につき1コマ、聴講者は3症例につき1コマ。領域別に3コマ(E1～3)            座長は登録理学療法士で、1症例につき、30分以上が必要。            士会承認症例検討会は士会が承認すれば、各施設で開催可能。</li> <li>・不明な点も多く、仔細については、ワーキンググループの会議後の予定。            (意見交換)</li> <li>・士会主催症例検討会は、支部開催の可能性が高いが、必須事項かどうかは決定ではない。</li> <li>・症例検討会の開催回数は支部の会員数に応じた設定は必要。</li> <li>・E1～E3 領域全ての開催は必要ない。</li> <li>・支部が士会承認症例検討会に関与することについては事務的な管理面で安心できるが、現時点では未定。仮に支部が関与する場合は、現在の研修会の事前申請、登録の流れになると思われる。</li> <li>・士会承認症例研修会の施設の申請・登録方法、実施証明については、今後の要検討課題。</li> <li>・会員が各支部の症例検討会を聴講することで、ポイントが取得しやすくなる。</li> <li>・士会承認症例検討会はWEBを使用して、後方施設と症例検討を行うことは地域連携という意味でもメリットは高く感じる。実施証明として、zoomの録画機能を用いてみてはどうか？</li> </ul>
<p>議題4</p>	<p>新人発表会の継続について ⇒継続審議</p>
<p>決定事項</p>	<p>(意見交換)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントが付与されなくなる新人発表会に新人がどの程度参加をするのか分からない。少人数であった場合の支部の労力を考えるとメリットが少ないのではないかと思う。</li> <li>・新人発表会を士会承認症例検討会に移行してみることも良いと思う。</li> <li>・新人発表会は会員に対し、資質向上と会員交流を図るというメリットがある。実施の可否については、できれば足並みを揃えて活動することが良いと思う。</li> <li>・症例検討会と新人発表会の開催は負担になる支部もあるため、新人発表会の開催の準備をしつつ、新人と所属施設の発表の意思を確認し、募集する形式が妥当と思われる。</li> <li>・協会の新カリキュラムの意図(前期・後期)を汲み取らないと協会と士会の事業に違いが生じてしまうのではないか。</li> </ul> <p>(結論)</p> <p>新人発表会の継続、症例検討会への移行について、メリット・デメリット・課題があったことを学術局との話し合いの中で今後の方針の決定に活かしていく。</p>
<p>議題5</p>	<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進について</p>
<p>決定事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町との連携について、モデル事業を構築する案が出ている。</li> <li>・地域連携の中で、医師会と理学療法士との連携を充実させていくことが求められている。</li> </ul> <p>(確認事項)</p> <p>各市町でシステムや状況にも違いがあるため、保健事業や介護予防事業でどのように関わっているかの情報(各市町の報酬など)を収集する。</p> <p>(目標)</p> <p>次年度の介護予防事業について、可能であれば、各市町と連携相談し、事業計画を立てる。少なくとも、次年度には事業計画が立てられるように今年度活動する。</p>
<p>議題6</p>	<p>代議員の活動について</p>
<p>決定事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他施設に現場の意見を持っている先生方もおられ、そういった意見を集約する仕組みが必要だと思う。</li> <li>・総会に向けて、他施設の状況を把握するために代議員のコミュニケーションが必要と考える。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代議員の活動費について、明確な規定がない。</li> </ul>
議題7	ZOOMの使用について(市町担当者との話し合いやミニ勉強会など地域連携に関する使用)
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支部全体に広報される形であれば、勉強会を行うものは良い。</li> <li>・地域との連携で使用の場合は、必要であれば問題ない(理事会にて確認)</li> <li>・ただし、私的なZOOM使用は避けること。</li> </ul>
議題8	臨床実習指導者講習会の支部開催について
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体は教育機関ではあるが、地域によって参加のバラツキもあるため、県士会主催も検討中。</li> </ul>
議題9	次年度予算案の考え方について
決定事項	<p>次年度に向けた予算案の準備を行うこと。12月に修正を行い、3月に予算確定を行う。  対面の可能性を考慮し、会場費込みで例年どおりの予算組みを行う。  新規事業を考えている支部はそれを盛り込んだ予算案にすること。  11月19日の理事会に向けて、概算の予算案の作成を行う。</p>
議題 10	その他
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人発表会の利益相反(COI)の開示については不要。</li> <li>・来年の選挙活動について、なるべく負担軽減に向けた検討を行う。兵庫県理学療法士会としての選挙活動ではなく、兵庫県理学療法士連盟としての活動として行う。</li> <li>・新人発表会が終わり次第、ポイント申請の手続きを速やかに行うこと。3月の開催は行わないこと</li> </ul>
継続事項	<p>登録理学療法士の更新に係るカリキュラムコードについて  症例検討会の開催について  新人発表会の継続について</p>
次回部会 日時・場所	未定
今後の予定	未定